R5.12.22

冬季休業前　全校集会　校長の話

みなさん、おはようございます。インフルエンザが流行っていますが、体調はいかがでしょうか？

ニュースを見ていたら、もみ殻を使って固形燃料を作る企業について特集されていました。専門家と広島県の職員が、将来大きな成長が期待できる企業を支援する取組で、「ひろしまユニコーン 10」というプロジェクトなのだそうです。しかもアフリカ諸国で廃棄された大量のもみ殻を燃料に変え、それをアフリカ諸国で販売して使ってもらうといった、エコな循環型社会を実現する取組なのです。

地方自治体が専門家や企業と連携して、アフリカで循環型社会を実現しているなんてすごい、と思いました。同時に、こういう発想ってどこからどうやって生まれたのだろうと思ったのです。

実は、神奈川県でも「SHIN みなとみらい」というベンチャー企業の成長促進拠点を運営し、規格外のよこすか野菜を災害備蓄食としてカレーにするといった取組が行われています。

創業してから年数が浅くて、企業価値の高いベンチャー企業を「ユニコーン企業」と言いますが、地方自治体がこのユニコーン企業の成長を支援してくれる、そして世界とつながることができる時代、おもしろくて、可能性にワクワクしませんか？

ＡとＢ。本来は何のつながりも無かったものをつなげる。「そんなアイディア、いったいどこから生まれてくるんだ」と思わせるようなおもしろい発想。そういう柔軟な発想を持てたら楽しいと思いませんか。視野をひろげ、アンテナを高くして、些細なことでも面白がることができる、そういう人たちがこれからの社会で活躍できる人たちなんだと思うのです。柔軟な発想でＡとＢをくっつけてしまうようなチャレンジができてしまう人たちが、これからの社会への貢献度はきっと高い。

この冬休み、さまざまなものごとに触れ、世界を広げるチャレンジをしてみてください。

そのためにまず、芸術に触れて、心を揺さぶる体験をしてほしい。年末年始には、企画展など特別な催しがあります。音楽・美術・書道。みんな高校では１年生の時にしか学ぶ機会がありませんが、深くて美しい芸術、美術館や博物館でもいい、推しのライブでもいいから、足を運んでみてはどうでしょう。心に刻まれる何かが得られると思うのです。

それに読書が加わるとさらに心に残る時間を過ごせます。自分とは別の人生を体験できるって本当に素敵なことなのです。

そして、それらの体験を誰かに自分の言葉で伝えてみてほしいのです。自分の言葉で伝えるということは、自分の中で「概念化」できているということです。国語や英語の読解問題、数学にも読解力が必要とされ、みんな悩ましく感じていることと思いますが、この自分の言葉で体験したことや感動したことを誰かに伝える、説明することは読解力アップに効果的で重要なエクササイズであることは間違いありません。

今年度、特に１・２年生は探究の時間の中で、外部から講師を招いて多くの講演会がありました。聞き流してほしくない、刺激的な話がたくさんあったと思います。これからもたくさんの機会が準備されています。「こんな話を聞いたよ」と誰かに伝え、心に刻んでいってほしいと思います。

さて、いよいよ冬休みに入ります。もしかしたら、進路のこと、家族、部活動、友人関係で、誰にも話せず、不安や悩み、ストレスを抱えている人もいるかもしれません。

一人で抱え込まずに遠慮なく学校や相談機関に連絡し、相談してください。校長室に来ていただいてももちろん構いません。先生方をはじめ、みなさんの周囲には力になってくれる人達がいます。誰かに話を聞いてもらうことは必ずあなたの支えになります。

健康に留意し、どうぞ充実した冬休みにしてください。３年生の一般受験の人たちは、いよいよ本番が目の前にやってきましたね。コンディションを整えて努力を続けてください。手洗い・うがい・消毒等の感染防止対策を行い、十分な睡眠、食事を心がけて生活し、年明けにまた笑顔で会いましょう。みなさん、よいお年をお迎えください。